

# ひょうごらくのうメモ

令和元年10月号

(令和元年10月15日発行)



ホームページ開設中



## 今月の主な内容

1	● 生乳生産量統計
2	● 主な行事予定
3	● 海外（米国）粗飼料研修報告
4	● 淡路家畜市場情報
5	● 隣県家畜市場情報
6	● 北海道産牛価格情勢
7	● 北海道乳牛産地情報
8	● 輸入粗飼料の情勢
9	● その他情報提供



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058  
西神文化センター3階

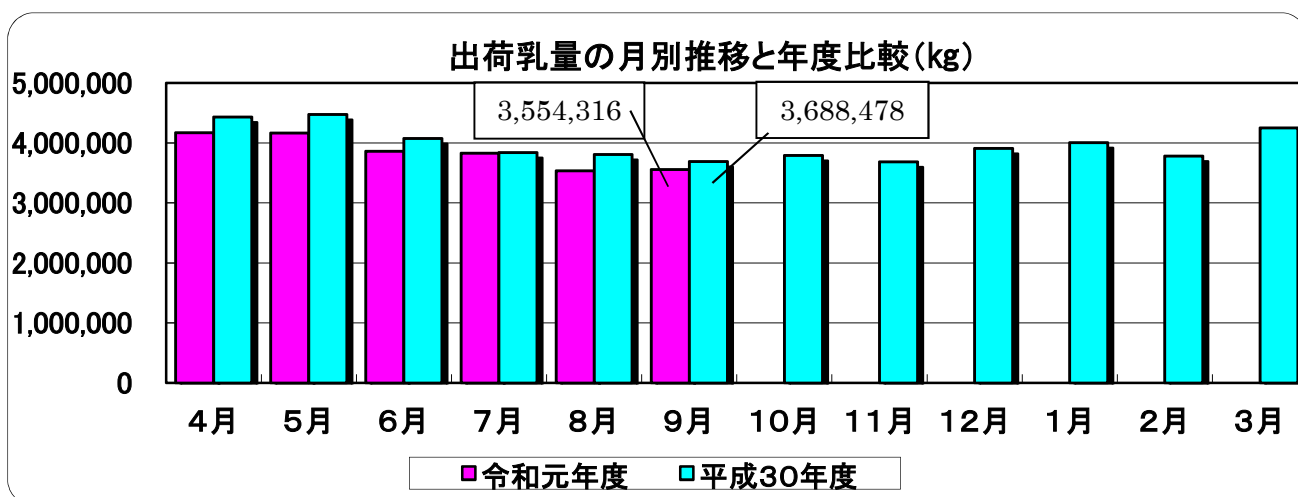
## 生乳生産量統計

### 1. 全国（令和元年8月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成31年 4月	622.8	99.9
令和元年 5月	644.2	99.5
令和元年 6月	618.9	99.7
令和元年 7月	623.3	101.1
令和元年 8月	595.6	98.2
令和元年 9月		
令和元年10月		
令和元年11月		
令和元年12月		
令和2年 1月		
令和2年 2月		
令和2年 3月		
令和元年度累計	3104.7	99.7

### 2. 兵庫県酪農協取扱い分（公共施設を除く）

地 区	令和 元年9月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	595,515	94.2	3,713,904	93.3	26
播州地区	1,049,336	100.2	6,647,082	98.4	36
丹但地区	309,743	83.1	2,063,775	87.3	18
淡路地区	1,609,722	97.8	10,692,620	95.3	113
合 計	3,554,316	96.4	23,117,381	95.1	193



明るい将来を夢見る酪農家、酪農後継者のための婚活イベント

## 「らく婚 in 淡路島」 詳細決定！

前月号にて速報でお知らせしました婚活イベントの詳細が決定いたしました。

独身の酪農家、酪農後継者の皆さん、**今こそ一歩踏み出すときです！**  
多数のご参加、心よりお待ちしております。

もちろん女性の参加も大募集！

※詳細は、組合のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

～兵庫県在住の酪農家さんとの婚活パーティー～

# らく婚

2019年12月7日 (SAT) 開催日

- ☆ 募集人数 20歳以上の独身男女 各10名程度  
※男性は兵庫県在住の酪農家限定です。
- ☆ 参加費 男性5,000円 / 女性3,000円
- ☆ 集合・会場 ウェスティンホテル淡路
- ☆ 応募締切 2019年11月28日 (木)

※バスをご利用の方、(新神戸・三宮・高速舞子⇄淡路夢舞台前) 行きの高速バスをご利用ください。  
※詳細はお申込み後、順次ご連絡させていただきます。

**SCHEDULE**

開催時間 (10:40 ~ 15:30 まで)

- 自己紹介タイム
- 奇跡の星の植物館 散策
- ランチ ビュッフェ
- カップル発表 お申し込みの抽選でカップル発表！

お申込みはこちらから ↓

お問い合わせ内容に【らく婚申込み】と記入して送信してください。

主催：兵庫県酪農農業協同組合 / 淡路農業青年連絡協議会  
〒651-2124  
兵庫県神戸市西区伊川谷町潮和 1058 番地  
西神文化センター 3階  
TEL:078-976-5011 FAX:078-976-5012  
受付時間：平日9時～17時半 (定休日：土日祝)

### ○主な行事予定

- (10月)
- 16日 令和元年度秋の花と緑を愛でる会
  - 17日 令和元年度改正法人税法等説明会
  - 19日 第41回兵庫県民農林漁業祭 (20日)
  - 21日 もう〜もう〜スクール宝塚市立西谷小学校
  - 23日 内部管理職会議
  - 24日 第101回兵庫県畜産共進会
  - 26日 第37回らくのうひょうごフェスティバル
- (11月)
- 1日 内部職員会議
  - 3日 第14回淡路農業技術センター「研究・ふれあいDAY」
  - 6日 共進牧場畜魂祭 みのりの祭典
  - 7日 第3回こうべ地域たべもの祭り実行委員会
  - 8日 第2回兵庫県認証食品に係る畜産物有識者会議
  - 12日 全酪連購買・畜産・指導担当者会議
  - 14日 もう〜もう〜スクール尼崎市立武庫南小学校
  - 第36回南あわじ市先端農業技術研究会

海外（米国）粗飼料研修を終えて

全国酪農業協同組合連合会大阪支所  
近畿駐在員事務所 木原 平



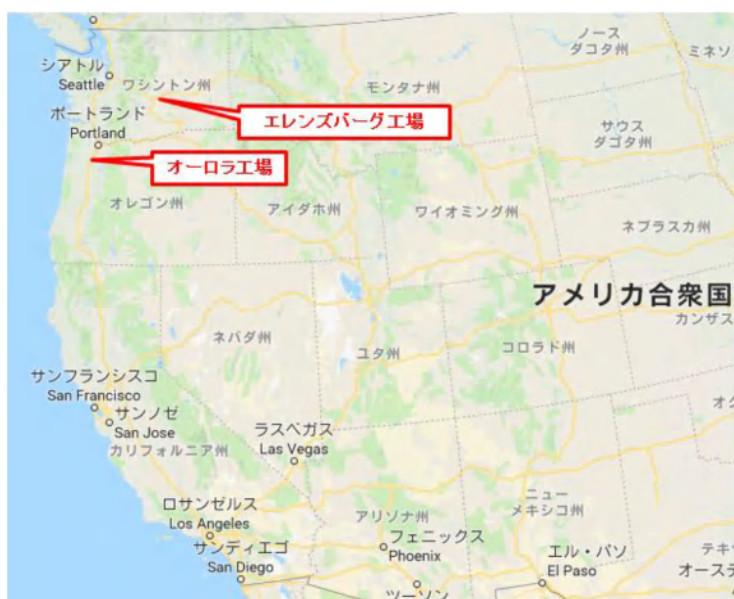
いつもお世話になっております、全酪連の木原です。前回この「ひょうごらくのうメモ」に寄稿させていただいてから早いものでほぼ1年が経ちました

このたび海外粗飼料研修として米国の広大な圃場や牧場を視察させていただきました。今回はその中で訪問させていただいたアンダーソン社とホルトファーム社についてご紹介させていただきます。

●アンダーソン社

このたびの視察研修では粗飼料の供給元であるサプライヤーを4社視察させていただきました。その中よりアンダーソン社での視察内容を紹介させていただきます。

アンダーソン社はワシントン州のエレンズバーグという所に位置しアメリカの西海岸でも北部にあるサプライヤーです（右地図参照）。



社訓として、「関係性・技術力・顧客評価」を掲げ自社ブランドの強化

し安定的に年間通して高品質な粗飼料を提供できるよう尽力しているとの事。そのために圃場ごとに番号を振りトレサビリティをかけると共にその製品は誰が生産しどこに出荷されどのような評価を受けたかを日々チェックされていて広大な圃場で起きる問題をできる限り最小限に抑えるような努力が感じられました。

アンダーソン社のあるエレンズバーグ周辺、また近隣のコロンビアベースン（※）はアルファルファ、チモシーなどの主要生産地となっており、同社においても多くの原料牧草がこの地域から買付されています。

今年のアルファルファ・チモシーの作柄について（注：アンダーソン社のみ）、

アルファ：1番刈～3番刈迄天候不良により良品が少ない。現在、4番刈ベーリング作業中だが霧がかかっており乾きが悪い。

チモシー：1、2番刈共に良品が多く確保できている。

との作柄状況。アルファルファに関しては既報のとおり中国が米国産アルファルファにかけていた25%の追加関税を一定期間（2019年9月17日から2020年9月16日まで）免除することとなっており、中国からの引き合いが強くなることが予想される。

土地（場所）や品種によって毎年の品質が変わる中、柔軟にその年・季節に合わせた飼養管理の変更を試みる（急激な給与メニュー変更はリスクだが）事も酪農経営に有益をもたらす一つの経営戦略かもしれません。

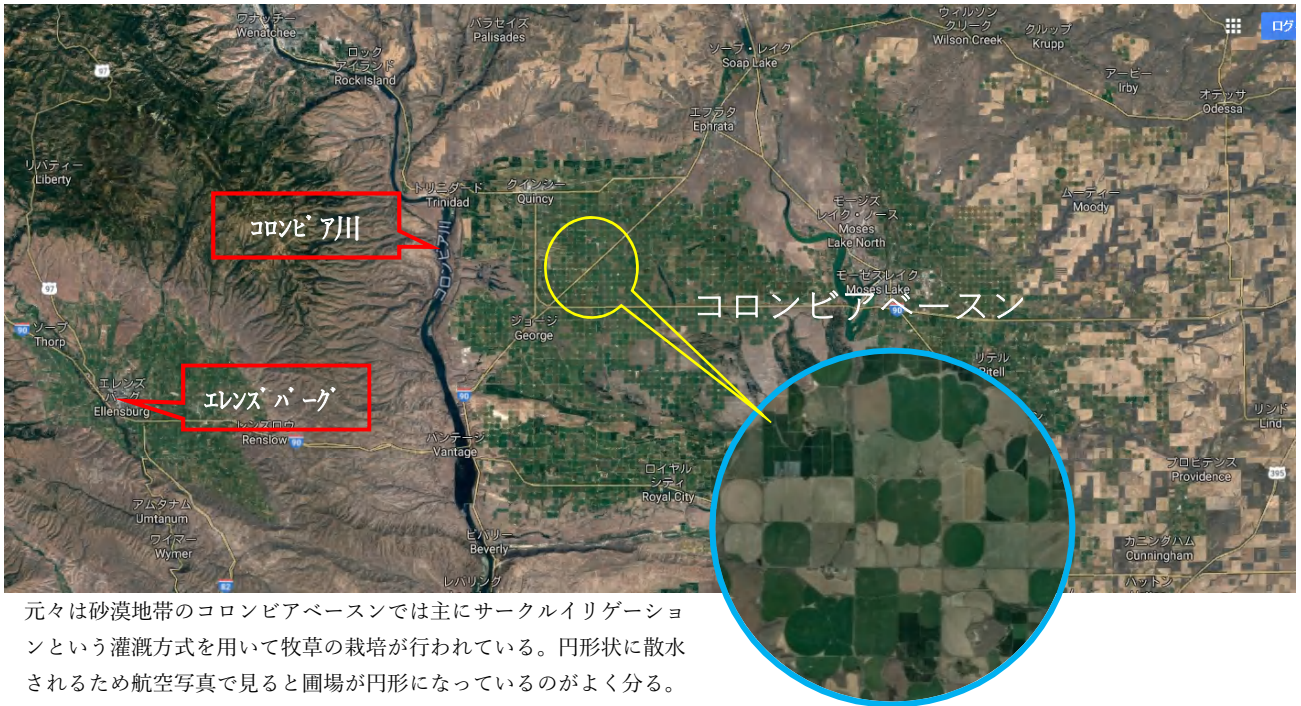


製品のグレードサンプル説明の様子。アンダーソン社ではチモシーは[SUPER PREMIUM DAIRY]、[PREMIUM DAIRY]、[LOW PREMIUM DAIRY]、[#1 DAIRY]、[#2 DAIRY]の5つにグレード別けされています。アルファルファは[PREMIUM]、[LOW PREMIUM]、[#1]、[ECONOMY]の4つ。

（※）コロンビアベースンとは

コロンビアベースンはワシントン州中東部に位置するおおよそ4,160 km<sup>2</sup> に及ぶ広大な農業地帯のことで、カナディアンロッキーを源流とするコロンビア川から1930年代に整備された灌漑用水を用い様々な農作物の生産が行われています。この灌漑用水のメ

インキャナルは全長約532kmに及び、さらに枝分かれするスモールキャナルは3,200km、それぞれの農地へ供給する用水路は5,600kmを超える壮大なスケールとなっています。生産可能な作物はアルファルファやチモシーなどの牧草、小麦、大麦、トウモロコシなどの穀類、りんご、チェリーなどの果樹等で生産される農作物は米国内の消費のみならず諸外国にも輸出され、中でも日本向けの輸出高は数ある輸出国の中でも最大となっています。



元々は砂漠地帯のコロンビアベースンでは主にサークルイリゲーションという灌漑方式を用いて牧草の栽培が行われている。円形状に散水されるため航空写真で見ると圃場が円形になっているのがよく分る。

●ホルトファーム社

次に紹介させて頂くのはユタ州南部のエンタープライズという地区にあるホルトファームです。カジノで有名なラスベガスから内陸に車で約2時間余り走ったところに位置します。

1966年、1枚のポテト畑から事業をスタートし今年で53年目を迎えるホルトファーム社。現在は圃場部門、ヘイキューブ部



門、酪農部門を運営する企業に発展している。圃場部門では4,000町の圃場を構えており、アルファルファ、コーン、ポテト、オーツを生産している。アルファルファの総生産量は38,000t/年で生産の3分の2をヘイキューブ部門で利用しており全量全酪連への出荷をいただいている。残りの3分の1は5,300頭搾乳の酪農部門で利用しており足りない状況のため米国内でビッグベールを買い足しし利用しているとの事。規模の大小は別にして各部門が連動して生産性を向上させていることがより各部門を発展させているように見えた。現在、米国では乳価が約40円/kg程で市況相場としては安定しているとの事だが乳価の変動が大きく日本と比較すると安定性には優れない様子。数年前に同州内の最大規模の牧場が経営破綻したとの事。動かす金額が大きい分赤字に転じると莫大な損失になってしまう企業を営む中、様々な部門を持つことでリスクヘッジになっているように見えた。



アルファルファのグリーンチョップ収穫の様子



同社の酪農部門「ホルトデイリー」、約5,300頭を1日3回搾乳 日量約200tをラスベガスにある乳業工場へ出荷している。

今回は酪農家の皆様に密接に関わっている米国の2社について紹介させていただきました。サプライヤー紹介につきまして今回はアンダーソン社のみとなりましたが各サプライヤーそれぞれの信条を持ち高品質な粗飼料生産に営んでおりました。また機会がありましたら各社のご紹介させていただくと共に常日頃の良質な乾牧草の供給により一層尽力してまいります。

非常に濃厚な時間で語り尽くせない内容でしたので米国情勢やそれ以外でもどうぞお気軽にお声がけください。今後ともよろしく願いいたします。

# 淡路家畜市場情報

令和1年9月9日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	25	287,885	335,880	194,400			55
前回	14	330,326		398,520	233,280			56	-42,441	-12.8%	
前年	18	212,820		312,120	30,240			55	75,065	35.3%	
オス	今回	14	342,823	430,920	224,640			53			
	前回	17	373,744	444,960	272,160			55	-30,921	-8.3%	
	前年	10	309,312	383,400	69,120			55	33,511	10.8%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年	1	48,600		48,600	48,600			71	-48,600	-100.0%	
オス	今回	9	114,720	135,000	78,840			52			
	前回	9	84,720	127,440	1,080			52	30,000	35.4%	
	前年	12	91,710	159,840	16,200			54	23,010	25.1%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は令和1年8月25日・前年は平成30年9月9日

令和1年9月25日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	21	255,189	341,280	44,280			56
前回	25	287,885		335,880	194,400			55	-32,696	-11.4%	
前年	19	238,737		321,840	63,720			57	16,452	6.9%	
オス	今回	28	284,773	354,240	7,560			52			
	前回	14	342,823	430,920	224,640			53	-58,050	-16.9%	
	前年	13	274,237	358,560	87,480			55	10,536	3.8%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年	1	12,960		12,960	12,960			49	-12,960	-100.0%	
オス	今回	9	25,680	60,480	1,080			52			
	前回	9	114,720	135,000	78,840			52	-89,040	-77.6%	
	前年	17	82,271	145,800	1,080			54	-56,591	-68.8%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は令和1年9月9日・前年は平成30年9月25日

# 隣県家畜市場情報

## 乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
28年次	96,767	932	106,895	1,793	102,268	325	109,068	116,177	
29年次	92,552	987	102,384	1,786	83,819	313	109,647	110,536	
30年次	114,925	931	128,634	1,548	104,980	265	135,573	106,027	
30	1	86,606	110	107,563	99	62,640	18	124,526	9,214
	2	98,131	87	102,261	118	85,888	19	137,691	8,068
	3	117,531	80	123,281	141	98,451	19	158,390	8,423
	4	126,865	62	146,520	105	121,440	27	161,422	8,179
	5	146,442	74	159,470	105	167,091	14	156,889	8,845
	6	131,252	34	168,090	72	137,880	12	151,160	8,011
	7	151,004	66	158,593	110	182,520	11	136,450	9,205
	8	134,983	65	137,809	163	131,854	23	117,344	9,423
	9	121,656	76	120,268	156	92,417	14	118,081	9,056
	10	111,122	101	120,324	168	75,731	33	127,446	9,999
	11	101,422	88	125,346	197	115,210	37	128,441	9,343
	12	93,518	88	98,413	114	74,236	38	115,932	8,261
31	1	96,634	84	91,423	129	82,370	41	103,499	7,937
	2	83,372	97	107,560	108	63,720	34	117,485	7,562
	3	115,483	56	132,371	145	102,376	29	138,663	8,229
	4	143,383	84	146,149	124	150,048	15	145,203	8,497
	5	151,684	58	164,849	91	141,210	16	141,762	7,937
	6	150,840	45	170,586	80	140,498	11	141,101	7,293
	7	141,452	76	151,626	114	148,163	16	134,807	9,403
	8	104,232	88	122,523	172	87,246	37	109,114	9,293
	9								
	10								
	11								
	12								

## 交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
28年次	257,790	3,644	254,962	5,297	311,352	3,011	255,387	166,606	
29年次	266,574	3,424	261,231	5,066	310,015	2,848	260,017	156,761	
30年次	265,098	3,642	265,355	4,560	306,156	2,420	257,799	150,900	
30	1	224,052	410	214,641	317	283,535	244	220,702	13,957
	2	226,646	380	215,661	401	279,711	244	228,402	12,269
	3	245,195	347	227,786	515	269,499	237	247,634	13,155
	4	263,669	284	260,348	364	315,485	199	271,257	12,147
	5	291,953	275	282,132	330	320,427	175	278,094	12,768
	6	312,657	187	310,953	296	361,873	311	291,022	10,865
	7	296,223	246	315,086	292	362,384	111	283,769	11,795
	8	287,276	253	283,302	461	316,868	154	254,701	12,525
	9	273,584	286	275,638	377	294,961	161	251,290	12,152
	10	267,927	336	271,927	352	292,655	175	251,406	13,598
	11	273,716	302	276,629	458	291,466	193	260,225	12,929
	12	274,699	336	275,416	397	297,295	216	265,315	12,740
31	1	271,973	278	281,940	378	331,981	113	260,053	12,131
	2	273,423	374	289,143	353	331,340	157	270,756	11,986
	3	296,616	357	314,143	348	356,184	160	294,041	11,958
	4	335,816	322	351,428	314	370,145	161	319,085	12,054
	5	361,670	315	368,655	349	393,614	153	325,752	11,875
	6	380,866	248	373,227	298	409,417	111	321,745	10,430
	7	367,992	409	373,248	280	419,466	109	322,123	12,229
	8	325,819	408	311,976	451	377,289	129	281,821	12,799
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

# 北海道産牛価格情勢

(令和1年10版)

## ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

令和1年9月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
ホクレン南北海道市場	6日	701,000円	814,000円	-113,000	86.1%
ホクレン十勝市場	10日	769,000円	893,000円	-124,000	86.1%
ホクレン釧路市場	11日	770,000円	921,000円	-151,000	83.6%
ホクレン根室市場	12日	773,000円	946,000円	-173,000	81.7%
ホクレン豊富市場	13日	746,000円	862,000円	-116,000	86.5%
ホクレン北見市場	25日	731,000円	934,000円	-203,000	78.3%
ホクレン十勝市場	26日	717,000円	927,000円	-210,000	77.3%
平均		747,000円	917,000円	-170,000	81.5%

## 10月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン南北海道市場	4日	701,000円	883,000円
ホクレン十勝市場	8日	769,000円	895,000円
ホクレン釧路市場	9日	770,000円	921,000円
ホクレン根室市場	10日	773,000円	908,000円
ホクレン豊富市場	17日	746,000円	848,000円
ホクレン北見市場	23日	731,000円	877,000円
ホクレン十勝市場	24日	769,000円	940,000円
ホクレン根室市場	31日	773,000円	863,000円
平均		747,000円	902,000円

## 11月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン十勝市場	7日	907,000円
ホクレン南北海道市場	8日	733,000円
ホクレン豊富市場	14日	815,000円
ホクレン釧路市場	19日	862,000円
ホクレン北見市場	20日	862,000円
ホクレン根室市場	21日	809,000円
ホクレン十勝市場	27日	850,000円
平均		853,000円

兵庫県酪農協 指導購買課

# 北海道乳牛産地情報

(令和元年10月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	40~45	横這い	札幌管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で107.8%、累計で97.4%、苫小牧管内月計で113.4%、累計で98.1%の実績となっております。 10月の初妊牛動向といたしまして、12~1月分娩予定、F1及び雌雄選別腹がメインで動くものと思われます。9月の同地域の乳牛市場はやや弱含みの相場展開をみせましたが、庭先購買で選ぶ中クラス以上の初妊牛は前月の予測と同様の72~80万円の価格となると思われます。雌雄選別腹や高能力牛も出てくる地域ですが、出回り頭数は少な目ですので、お早目のお問い合わせをお願いします。
	初妊牛	72~80	横這い	
	経産牛	50~60	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	40~50	弱含み	根釧管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で114.5%、累計で100.3%、中標津管内月計で120.7%、累計で102.8%の実績となっております。 10月の初妊牛動向といたしまして、12月~1月分娩が中心となります。8月の管内乳牛市場平均では一旦、落ち着きを見せましたが、上・中クラスは堅調な動きを見せていることから、庭先購買価格は横這いとなることが予想されます。資源状況については、例年並みの頭数は確保できる状況となっておりますが、一部、道内外の規模拡大等の導入の動きが続いていることから、相場が急騰することも考えられます。F1・雌雄選別腹は横這い、和牛受精卵移植腹はやや弱含みで推移するものと思われます。
	初妊牛	77~87	横這い	
	経産牛	50~60	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	40~50	やや弱含み	帯広管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で111.3%、累計で103.9%の実績となっております。 10月の初妊牛動向といたしまして、12月~1月分娩が中心となります。F1腹がメインですが、雌雄選別精液授精腹も十分に確保できるものと思われます。当管内地域の乳牛市場は9月に月2回開催されており、初妊牛平均価格は税抜き72万円程度となっておりますが、中、上物クラスは高値で取引されており、庭先購買も市場平均よりは上の相場となります。出回り頭数は多くなっており、10月も相場は横這いに推移するものと思われます。
	初妊牛	77~87	横這い	
	経産牛	55~62	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	43~53	横這い	道北管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で107.9%、累計で99.4%、北見管内では月計で106.9%、累計で101.7%の実績となっております。 10月の初妊牛動向といたしまして、12月~1月分娩の腹が中心となります。道内外共に導入が活発になり始めており初妊牛相場はF1・雌雄選別腹問わず、価格は横這いで推移すると思われます。搾乳頭数確保の影響で経産牛の道内需要も堅調であり、相場も横這いから、やや強含みで動くものと思われます。資源状況については、例年並みに推移すると思われます。
	初妊牛	72~82	横這い	
	経産牛	48~55	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	40~50	やや弱含み	道内の9月中旬までの生乳生産量前年比は昨年のブラックアウトの影響で単月112.6%、累計で102.0%の実績となっております。一部地域ではデントコーンの収穫作業が順調に始まっている様子が、収量・品質を期待したいところです。 10月の初妊牛動向といたしまして、12月~1月分娩が中心となります。8月~9月相場は一旦落ち着きを見せましたが、道内外での大型牧場の購買が今後増加する予想である一方、道内の初妊牛資源は豊富である事などから非常に予測しにくい相場となっております。弊社としましては、相場に注視しながら、上・中クラス中心に安定した庭先購買で、ご希望に添える初妊牛を導入していきますので導入計画等ございましたらお早目のご注文を宜しくお願い致します。
	初妊牛	77~87	横這い	
	経産牛	50~60	横這い	

\*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

札幌支所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。  
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。  
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》  
釧路事務所 ☎(0154)52-1232  
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877  
帯広事務所 ☎(0155)37-6051  
道北事務所 ☎(01654)2-2368

## 輸入粗飼料の情勢

全酪連 大阪支所  
酪農生産研究会

### 北米コンテナ船情勢

前月号でも記載したとおり、2020年1月から重油に含まれる硫黄に関する環境規制が始まります。このため、各船社は10月以降 Low Sulphur Compliance Charge(LSFCC)を導入し、規制への対応に伴うコスト増加見込み分を海上運賃に付加する動きを見せています。

また、米中貿易摩擦により中国が米国産アルファルファにかけていた25%の追加関税が一定期間免除されることが決まりました。このため、中国からの需要が米国に回帰し各サプライヤーの出荷スケジュールも埋まり、北米を出港する本船も混雑することが予想されています。今後、年末・年始向けの貨物が増加するなかで日本向けのスケジュールが遅延・混乱する可能性もあり注意が必要です。

### ビートパルプ

【米国】

ミシガン州では、天候不順により生育が阻害され、収穫が3週間ほど遅れています。干ばつによりビート大根そのものの砂糖含有量は増加しているものの、春先の冷涼多雨な気候の後、長期に渡る水不足により単収は過去5年平均単収対比で10%弱の減少見込みとなっています。

ミネソタ州及びノースダコタ州の北部では、ここ数週間で土壌水分は改善されており、単収見込みは過去5年平均並みになると見込んでいます。また収穫面積は昨年比微増となりそうです。

ノースダコタ州中部では、砂糖大根の生育鈍化、病気や根腐れ病への懸念等が収穫上の課題となっており、単収は当初見込みより下方修正される可能性もあります。作付面積は昨年対比10%程度の増加見込みとなっています。

ミネソタ州中南部でも生育環境は徐々に回復しています。収穫は例年のほぼ1か月遅れの9月半ばより開始されています。収穫面積は昨年対比やや減少の見込みとなっています。

産地価格は世界的なビートパルプの需要増、堅調な他穀物相場の影響を受け、昨年同時期に比べ高値で取引されています。

## アルファルファ

### ワシントン州

主産地コロンビアベースンでは、現在4番刈が進行中です。9月上旬から断続的に降雨や雷雨などの天候不順が続いていたため、一部圃場では天候の回復を待って収穫作業に入っています。また当地では9月以降、気温が低下してきており、直近では最高気温は15℃程度、最低気温が4℃前後になっています。このため圃場で乾燥させる日数が通常よりも長くなり、変色(ブリーチ)が発生するなど仕上がり・見た目への影響が懸念されています。

また前述のとおり、中国が米国産アルファルファにかけていた25%の追加関税を一定期間(2019年9月17日から2020年9月16日まで)免除することになりました。追加関税の免除期間中は従来の課税分7%のみが適用される予定です。

この動きを受け、米国側のアルファルファ生産農家は需要の回帰による高値を期待し在庫を抱え始めています。予想される中国からの需要増と生産農家の強気の姿勢から、今後さらに産地価格が上昇する可能性が高まっています。

### オレゴン州

南部クラマスフォールズでは、3番刈の収穫を終えており一部の圃場では4番刈が始まっています。ワシントン州と同様に、9月に入り気温が下がり始め、現在では最低気温が氷点下を下回る日もあります。9月下旬には天候不良の予報が出ていたものの、3番刈の品質は例年並みにまとまっているようです。

産地価格は引き続き堅調に推移しています。米国内の乳価が徐々に回復していること、旧穀からの余剰在庫が少ないうえ西海岸全域で上級品の生産が限定的なことから、米国内の需要が強い状況です。低級品についても、米国内の肥育向けや中東、中国向け需要が引き続き旺盛なことから予想よりも高値で取引されています。

中部クリスマスバレーでは、3番刈の収穫は終盤を迎えています。クラマスフォールズと同様、収穫期間中の大きな降雨被害は報告されておらず品質は例年並みと言われています。産地相場は、他産地と同様に国内外からの需要が高く、引き続き高値で取引されています。

### カリフォルニア州

南部インペリアルバレーでは、6番刈が終盤を迎えており、現在7番刈が進行中です。産地の気温は徐々に低下してきており、それに伴い成分も回復してきています。夏場に収穫されたアルファルファは輸出向けとしては好まれない品質が多かったため、米国内肥育牛向けや一部酪農家向け中心の需要となっていますが、今後、冷涼な気候

が続き、高成分品が発生すれば、中国を中心とした輸出向け需要が強まると予想されています。

## 米国産チモシー

主産地コロンビアベースン及びエレンズバーグでは2番刈を終了しています。2番刈は早刈りした圃場では降雨を避けられましたが、それ以外の多くは何らかの降雨の影響を受けているようで中級品から低級品が中心になっています。産地相場は昨年対比でやや軟化していますが、収穫期の降雨の影響もあり上級品は限定的で、多くは中級品になっています。

## カナダ産チモシー

アルバータ州南部レスブリッジ地区では現在2番刈の収穫作業が終盤を迎えています。同州中部クレモナ地区では、7月下旬より始まった1番刈の収穫作業がほぼ終了しています。

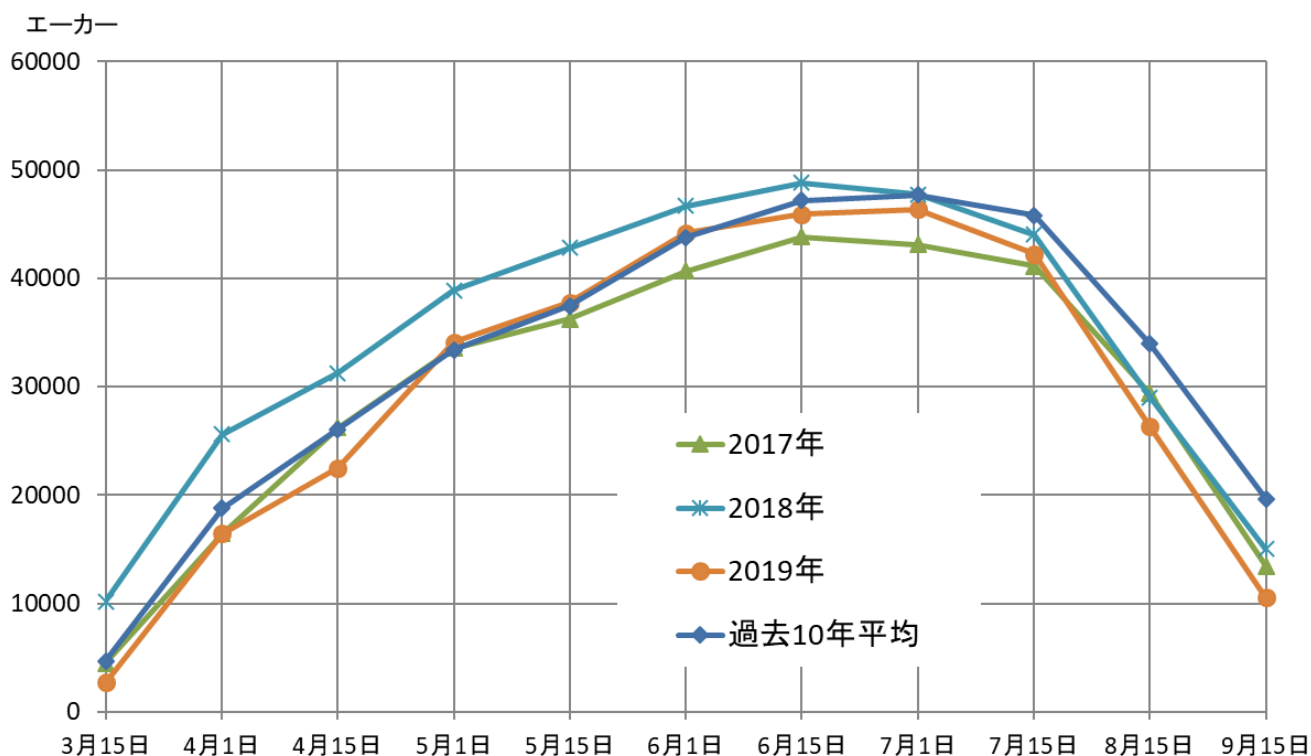
南部レスブリッジ地区の1番刈は、収穫期の天候に恵まれたことから、上級品の発生が中心となっています。中部クレモナ地区では、8月中旬以降断続的に降雨があり、上級品の発生は限定的で、中～低級品の発生が中心となっております。

産地相場については、US産チモシー相場の軟化に加え、カナダ国内の自給粗飼料の状況も改善されたことから収穫期前半まで軟化傾向にはありましたが、上級品の発生が期待よりも少なく、需給にやや逼迫感が出てきていることから上級品と生産量の多い中～低級品との価格差は昨年よりも開きつつあるようです。産地ではまだ各サプライヤーが原料草の買付を進めている段階であることから、産地相場の動向については引き続き注意を払っていく必要があります。

## スーダングラス

19年産の輸出向けスーダングラスの生産はほぼ終了しています。9月15日時点の作付面積は前年同期比81%の約10,000エーカーとなっています。現時点で収穫されていないものについては、主に米国内の肥育牛向けに利用されます。19年産スーダンの総生産量は作付面積の減少に比例して旧穀よりも減少する見込みです。

産地相場については、チモシー相場の軟化を受けて、スーダン相場全体の傾向としては旧穀に比べやや弱含みで推移していますが、発生量の限られる色抜け品の細茎・上級品および産地周辺で増加する肥育向けから旺盛な需要がある低級品スーダンは旧穀並、もしくはやや強含みに推移しています。



	3月15日	4月1日	4月15日	5月1日	5月15日	6月1日	6月15日	7月1日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日
2017年	4503	16465	26207	33563	36250	40668	43834	43096	41138	29354	13449	5443
2018年	10178	25621	31260	38881	42791	46694	48787	47747	44039	29010	15048	7791
2019年	2722	16448	22495	34121	37782	44162	45929	46347	42259	26320	10533	
過去10年平均	4691	18775	26075	33418	37452	43771	47185	47705	45809	33944	19647	12227

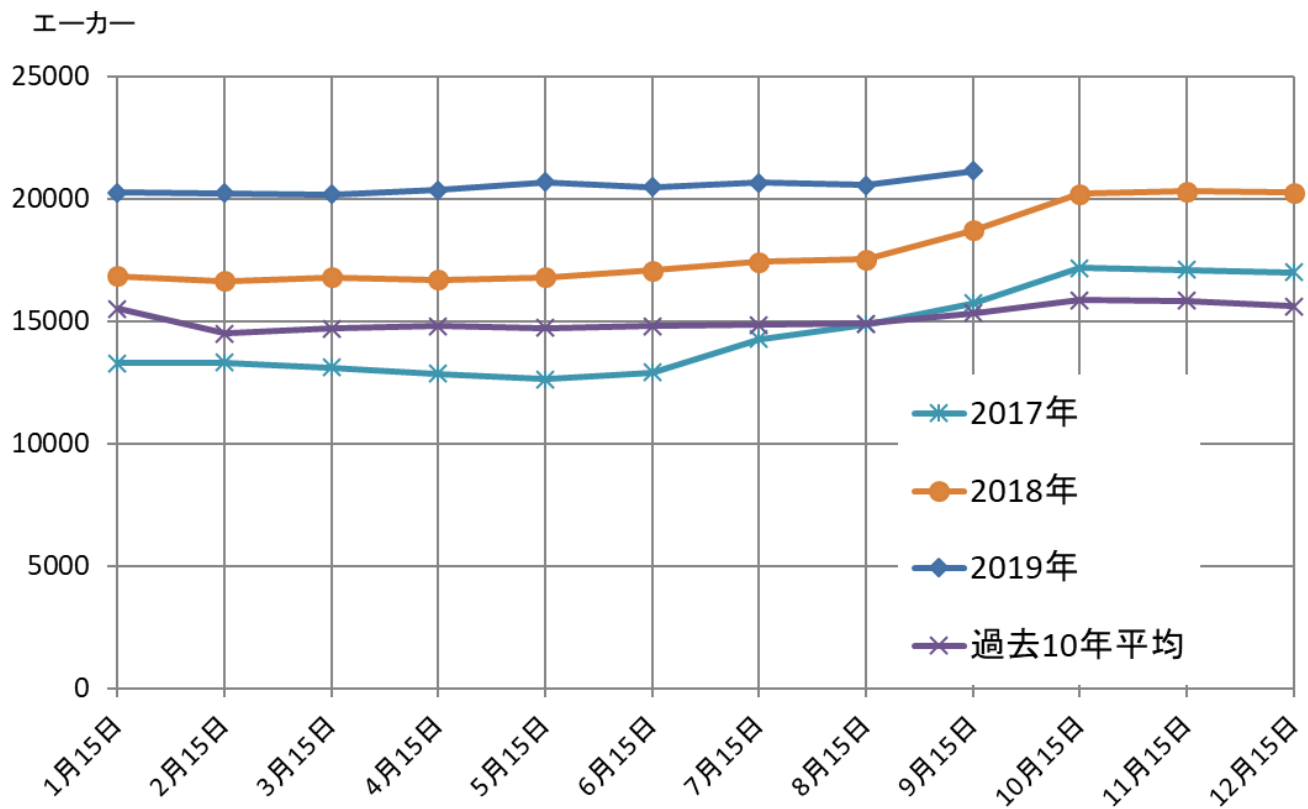
インペリアルバレー スーダングラス作付面積推移 9月15日時点（単位：エーカー）

## クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

インペリアルバレーでは4番刈の収穫作業が終了し、5番刈が進行中です。9月15日時点の作付面積は前年同期比113%となっており、好調な産地相場を背景に、来シーズンに向け作付面積が増加しています。産地の気温は徐々に低下しており、湿気も例年ほど高くなかったことから、9月中旬までは順調な生産が続いていました。

しかしながら、9月25～26日にかけて産地では大雨に見舞われ、ベーリング前の予乾中だった圃場では雨当たりの被害が出ているようです。

日本および韓国からの需要は旺盛な状況が続いており、産地相場については大きな変動なく堅調なまま推移しています。



	1月15日	2月15日	3月15日	4月15日	5月15日	6月15日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2017年	13276	13296	13092	12846	12614	12901	14255	14875	15722	17159	17088	16999
2018年	16832	16628	16796	16695	16794	17071	17429	17531	18705	20193	20289	20253
2019年	20253	20213	20167	20357	20672	20471	20655	20558	21129			
過去10年平均	15504	14497	14694	14789	14726	14800	14852	14901	15322	15866	15817	15592

インペリアルバレー クレイングラス作付面積推移 9月15日時点（単位：エーカー）

## ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主産地ウィラメットバレーでは、既報のとおり、アニュアルライグラスストロー及びフェスクストローの収穫中に度々降雨に見舞われ、地域によってばらつきはありますが、多くの圃場で雨当たりが発生しているようです。良品の発生は限定的になる見込みから産地価格は上昇傾向にあります。ペレニアルライグラスは作付面積の減少と天候不良により生産量が減少する見込みで、産地相場は輸出向け需要次第ではあるものの今後上昇していくと予想されています。

## 豪州産オーツハイ

2019年産オーツハイの生育が進んでいますが、当初見込みよりも全体的に収穫に遅れがでてきています。

## 西豪州

西豪州では北部を皮切りに9月下旬から収穫が始まっています。

9月の降水量は過去の平均降水量の30%以下と非常に少ない状況です。特に産地の内陸部では降水量不足の影響は大きく、収穫に十分なレベルまで生育が進まず、収穫をあきらめ放牧用に使用する生産農家もでてきています。生育期終盤での降雨不足により収穫量の予想は当初を下回り、現時点では例年の7割程度になる見込みです。

西豪州の他の地域については今のところ例年並みの収量となる見込みです。

## 南豪州

一部地域では、9月の観測史上最も少ない降水量を記録しました。このため、特に早播きした圃場の収量は少なく、3-4トン/ha程度になると予想されています。一方、遅播きした圃場では播種直後に降雨がなく初期生育が遅れ丈も伸びておらず、こちらも収量は期待できない状況です。多くの生産農家は10月上旬から収穫を開始する予定です。

## 東豪州

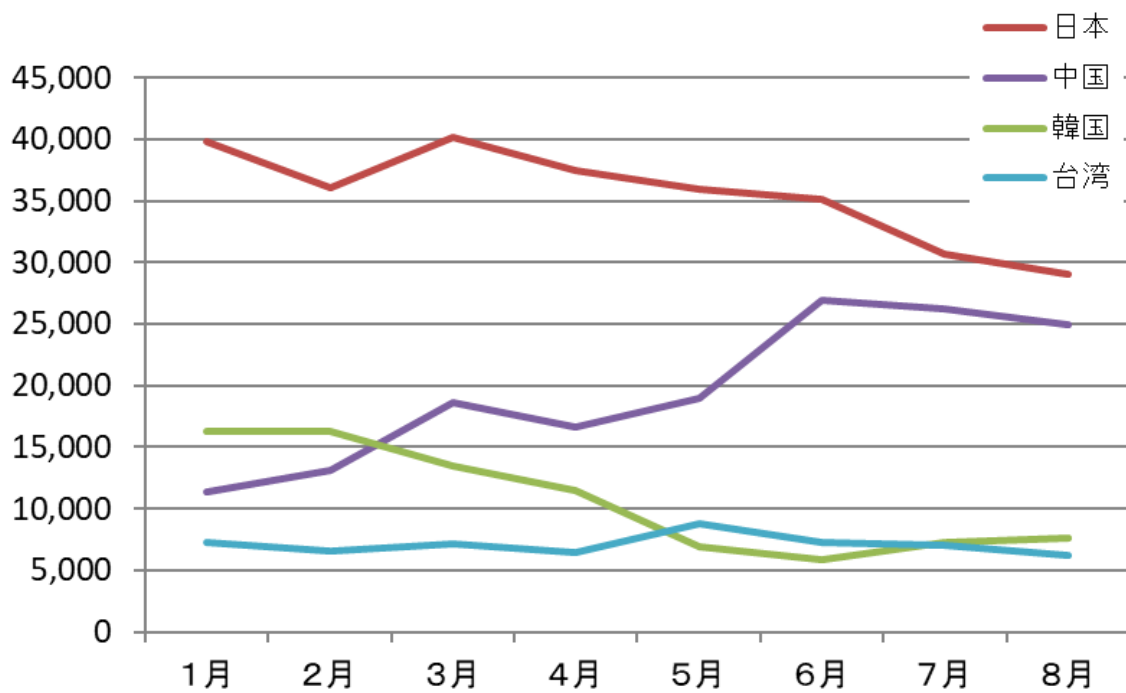
東豪州では早播きの圃場については例年以上、遅播きの圃場については例年より若干低い収量になる傾向と見込まれています。新穀の収穫を始めている生産農家はまだ一部で、ほとんどの生産農家は10月中旬頃から収穫を始める予定です。今年の東豪州の生産量は例年の8-9割程度と見込まれています。

各産地とも旧穀の繰り越し在庫が少なく10月後半から11月にかけて、すでに各サプライヤーに新穀のオーダーが殺到している状況です。加えて新穀の収穫が予定より少し遅れが出始めていることから、新穀のスタート当初の生産及び出荷が逼迫する可能性があります。

豪州国内では畜産農家の乾牧草在庫は少ないものの東豪州では例年に近い単収を期待できる状況から、国内からの引き合いは昨年に比べ弱まるものと予想されています。

日本国内の状況としては、北米産イネ科牧草の価格軟化の影響により、オーツヘイの輸入量は減少傾向にあります。

収穫直前までの生育状況から、豪州全体では早魃の影響を受けた昨年よりもオーツヘイの生産量は増えることが期待できること、また、豪州国内の需要も先々弱まってくると予想されることから、今後収穫期の天候に恵まれれば新穀価格は旧穀に比べ軟化する可能性もあります。



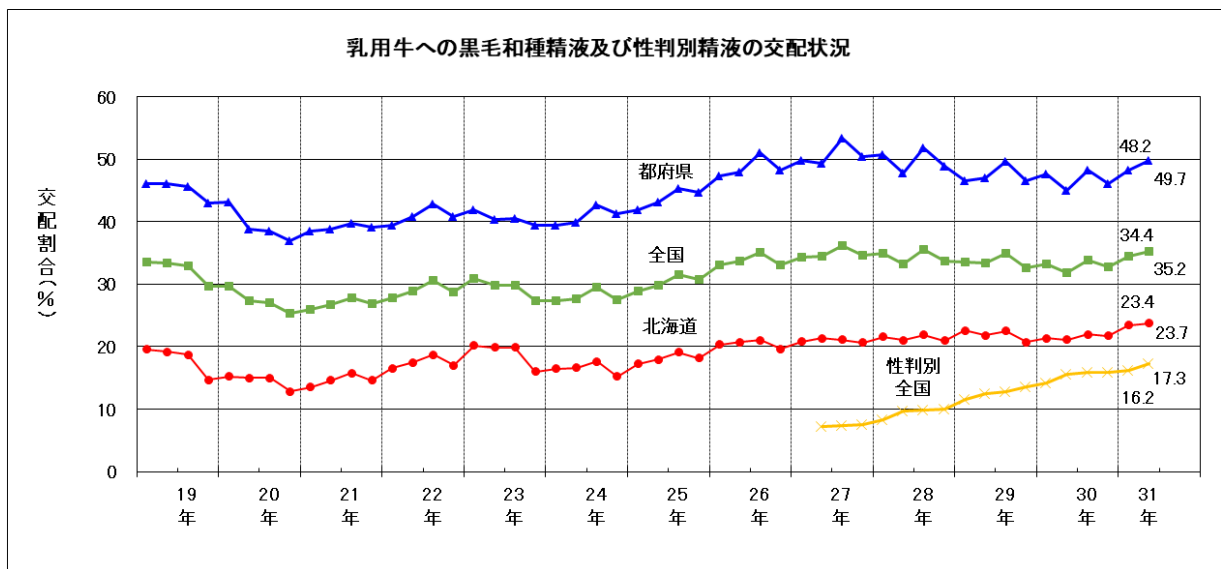
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
日本	39,861	36,077	40,202	37,469	35,996	35,081	30,637	29,084	284,407
韓国	16,222	16,283	13,419	11,443	6,868	5,842	7,220	7,586	84,882
中国	11,311	13,147	18,579	16,578	18,928	26,925	26,197	24,989	156,655
台湾	7,292	6,536	7,141	6,407	8,821	7,228	6,999	6,163	56,588
その他	1,981	2,551	3,969	2,967	3,412	3,144	4,317	2,709	25,049
計	76,668	74,594	83,311	74,864	74,025	78,220	75,369	70,531	607,581

2019年1月～8月 豪州産オーツヘイ輸出先別数量（単位：トン）

以上

乳用牛への黒毛和種の交配状況について

2019年第2四半期（2019年4～6月期）の黒毛和種の交配割合は、全国において35.2%（前期比0.8%増、前年同期比3.3%増）、北海道において23.7%（前期比0.3%増、前年同期比2.6%増）となっています。また、性判別精液の割合は、全国において17.3%（前期比1.1%増、前年同期比1.7%増）となっています。



※ 乳用牛への黒毛和種の交配状況が生乳生産に影響を与え始めるのは、妊娠期間及び育成期間を経た3年後となります。

※ 今四半期の数値は速報値です。次回公表時に確報値をお示しします。



# 第37回

# らくのうひょうご フェスティバル



in

## 淡路家畜市場内

淡路市塩田新島3-2  
(淡路ワールドパークONOKORO となり)

令和元年

10 / 26 土  
AM9:30~



### 「ひょうご県産牛乳」まつり

牛乳試飲 **無料** 乳製品即売 200円以上ご購入者には抽選券を進呈

開始時間は内容ごとに異なります。

### 体験コーナー

- 模擬搾乳 **先着順**
- 成牛へのえさやり
- 牛乳パックでおもちゃ作り
- 仔牛への哺乳 **先着順**
- 干し草ベッド
- 絵画コンクール



10:00 抽選開始

### 抽選会

液晶テレビや任天堂Switch Lite、  
乳製品などの豪華景品が当たる

景品がなくなり次第終了



## 主催 兵庫県酪農農業協同組合



後援 農林水産省、兵庫県、兵庫県議会、淡路市、NHK神戸放送局  
朝日新聞神戸総局、神戸新聞社、産経新聞社、サンテレビジョン 協賛 関係団体・関係会社

